

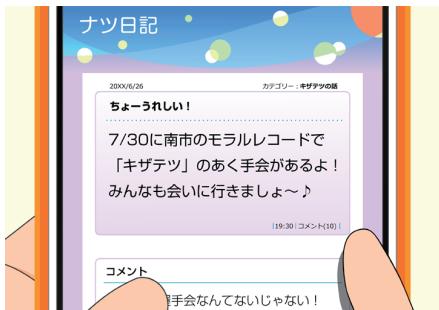
確かめなかつたせいで

あらすじ

登場人物：なつき

アイドルのファンであるなつきは、新曲発売記念のイベントについて書かれたページを見つける。なつきはそれを見て、近くで握手会があると思い込み、握手会の場所や日時をブログに書き込んでしまう。数日後、イベントが勘違いであったことに気付いてブログで訂正するが、間違った書き込みを信じた人がお店に行くのではないかと心配になる。

指導のポイント



！ インターネットは

- 世界中の不特定多数の人が利用している
- 不確かな情報をのせると迷惑をかけることがある
- 無責任な書き込みはトラブルのもとである
- 公共のものであるという意識を持つ必要がある



！ ネット上への書き込みは

- 次から次へとコピーされて広まる
- 書き込みを削除しても誰か一人でもコピーしていると削除することはできない
- 後で間違いに気が付いても、すべての人に訂正、謝罪するのは不可能である



！ ネット上の情報は（※信ぴょう性）

- インターネットには不確かな情報やデマ情報があふれている
- 情報の出所を確認する
- 新聞や本などと合わせて確かめる

B-18

情報を発信するときの責任 「確かめなかつたせいで」

対象学年

小5～6年、中学校

ねらい

話し合いを通して、発信した情報が多くの人に影響を及ぼすことや、発信した情報には責任が伴うことなどに気付く。

一 指導の流れ 一

学習活動

教師の発問と予想される児童生徒の反応

導入

1 アニメーションを視聴する。
(5分)

B-18 (3分30秒) を再生する。
キーラインでストーリーを確認する。

2 予想される問題点を考える。
(10分)

ブログをつい正した後、なつきさんはどうして暗い顔をしていたのでしょうか。

- ・キザテツが来ないから。
- ・友だちに悪いことをしたと思っているから。
- ・ブログのつい正を見ない人がいるかもしれないから。
- ・ブログを信じた人に非なんを浴びるかもしれないから。
- ・お店に行く人がいるかもしれないから。

展開

3 情報の広がり方と及ぼす影響について話し合う。
(20分)

ブログにまちがった情報をのせると、どんな問題が起こるのでしょうか。

- ・信じた人に迷わくをかける。
- ・まちがいに気がついても、全ての人に謝罪やつい正は伝えられない。
- ・ブログを見た人が他の人にも伝えて、まちがいが広がるかもしれない。
- ・取り消したとしても、だれかがコピーしていればその情報は残る。

!
自由に話し合わせる中で、発信した情報が多くの人に影響を及ぼすことや、発信した情報には責任が伴うことに気付かせたい。

まとめ

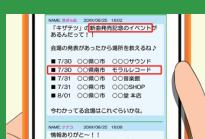
4 まとめのアニメーションを視聴した後、気を付けることを発表する。
(10分)

まとめ (2分5秒) を再生する。

ブログを書くときに気を付けることを書きましょう。

- ・ブログに情報をのせるときはよく確かめる。
- ・読む人のことを考える。
- ・発信すべき内容かどうかよく考える。
- ・読む人の気持ちやおよぶえいきょうをよく考える。

一 板書例 一



ブログに書くときに気を付けること

- ・読む人の気持ちやおよぶえいきょうをよく考える
- ・読む人のことを考える
- ・発信すべき内容かどうかよく考える
- ・情報をのせるときはよく確かめる

- ・まちがった情報をのせると
どんな問題が起こるだろう
- ・信じた人に迷わくをかける
- ・まちがいに気がついても、全ての人に謝罪やつい正は伝えられない
- ・ブログを見た人が他の人にも伝えて、まちがいが広がるかもしれない
- ・取り消したとしても、だれかがコピーしていればその情報は残る



暗い顔をしている理由

- ・キザテツが来ないから
- ・友だちに悪いことをしたと思っているから
- ・つい正を見ない人がいるかもしれないから
- ・信じた人に非なんを浴びるかもしれないから
- ・お店に行く人がいるかもしれないから

「確かめなかつたせいで」